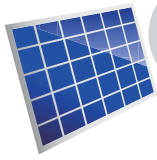


圃場で使用する電気を太陽光で賄う



農業型

両面縦型太陽光パネル

実地試験を行いました



4月1日に縦型太陽光パネルの設置試験を行いました。圃場に設置した太陽光パネルが、太陽光を吸収し、電気を発生させることが確認されました。試験には、株式会社豊田通商(株)、株式会社Sunichoku Solar、株式会社東京セレクトエネルギー(株)の3社が参加しました。試験の結果、太陽光パネルの設置による電気の発生を確認することができました。試験には、株式会社豊田通商(株)、株式会社Sunichoku Solar、株式会社東京セレクトエネルギー(株)の3社が参加しました。試験の結果、太陽光パネルの設置による電気の発生を確認することができました。

実際にトラクターを動かして、幅や回り方を確認しています。



きましました。現在、圃場の整備が完了し、稲作の準備が完了しています。圃場の整備が完了し、稲作の準備が完了しています。圃場の整備が完了し、稲作の準備が完了しています。圃場の整備が完了し、稲作の準備が完了しています。

生産者通信

(有)エコ・ライス新編 定価 100円(送料込)

農業におけるエネルギー自給について

「営農型太陽光発電」の観点から農業と発電を組み合わせる取り組み。

多くの生産者がいる長岡市では、水田に使用する水はポンプで汲み上げている。その為、電気を使用せざるを得ません。この電力を田んぼに立てた太陽光パネルで賄うことができれば、発電も生産も料率が可能になります。

また田んぼに縦型太陽光パネルを設置するメリットとして、水田や積雪からの反射光も取り込むことが可能なため、無駄なく電力を作り続けることができます。



石川県の酒蔵では一足早く導入



石川県の(株)吉田酒造が実際に営農型太陽光パネルを設置した様子です。このようなイメージで設置、増設していきたいですね。